

小倉記念病院 循環器内科日より

つなぐ

Vol.49

2021.11月

2021年11月、徐脈性不整脈に対する「リードレスペースメーカ」が日本最速で500症例を迎えた。

直径6.8ミリ、容積0.8ccの小さなペースメーカはカプセル型で本体を皮下に植え込むのではなく、カテーテルを用いて心臓内に送り込み、小さなフックで直接心壁に取り付けられ、先端の電極を通じて電気刺激を送りペーシングを行う。

リードレスペースメーカは更なる進化を遂げ、房室同期ペーシング機能を搭載した新たなデバイスが同月に導入された。小型化だけではなく、加速度センサーを利用し機械的心房収縮に基づいてペーシング調節を行えるようになり、患者状況に合わせて3つのペーシングレート調整機能が搭載されている。

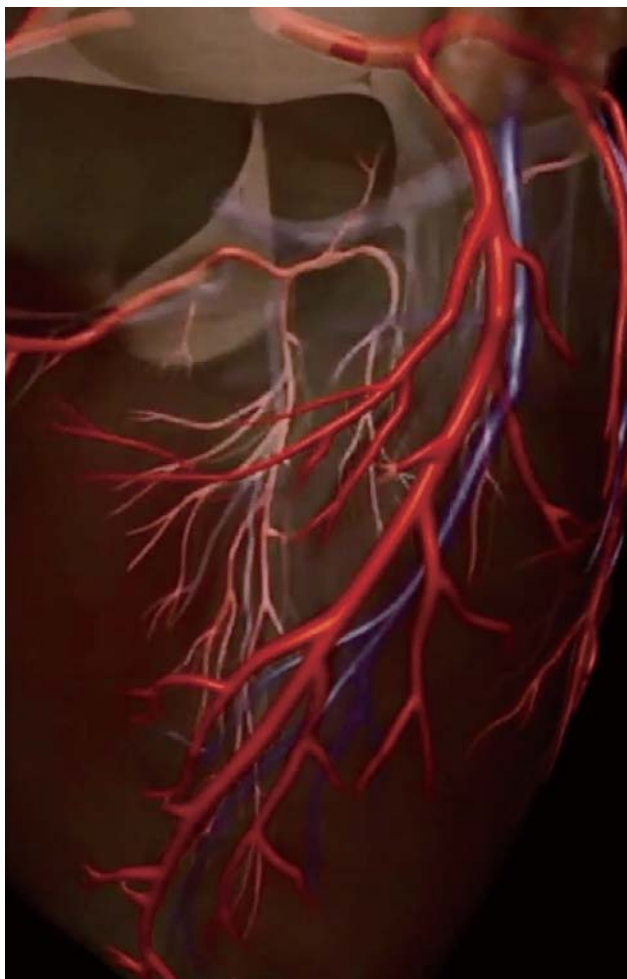
1930年代に体外型から始まったペースメーカ治療は、植込み型そしてリードレスへとつながり、今後も進化し続けるだろう。この地域の患者さんへ最新の医療を届け続けるために私たち医療従事者の進化も止めてはならない。



第58回

小倉循環器内科セミナー

2021年 12月16日(木) 19:00~20:00



私が考える 冠動脈疾患の ベストプラクティス

座長

小倉記念病院 副院長
循環器内科主任部長 安藤 献児



講師

京都大学大学院医学研究科
循環器内科学 教授 木村剛 先生

参加方法



ZOOMによる
web参加のみとなります!

zoomの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会→④Zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

